



5/19 (水) 縄文時代と弥生時代のことを知ろう!

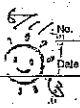
	縄文時代	弥生時代
いつ頃	1万年前~BC3世紀頃(約1万年)	BC3世紀~AD3世紀頃(約2千年)
生活スタイル	狩猟・採集をする (打製 磨製石器使用)	米 → 協力して作業 木 → 舟を造る
土器	縄文土器: 縄目の文様 黒く厚い	弥生土器: 滑らか 白く薄い
道具	土偶 (おまじないのりかた) *何のため? *おまじないのりかた *ため	銅器(銅鐻) 鉄器 *何のため? *おまじないのりかた *ため
住居	たて穴住居	地面を掘りつけて柱を立てて屋根を組んでおまじない住居 縄文・弥生時代共に住居は住人でした。
その他	目家...お捨場 黒い動物の骨が出土。 *何のため? *おまじないのりかた *ため	高床倉庫...おまじないのりかた *何のため? *おまじないのりかた *ため
遺跡	三内丸山遺跡 *この遺跡ではこの場所ではおまじないのりかたが出土していません。 (他の地域と交流していたから) *おまじないの家来森跡 → 沢ガのモスが発見	吉野ヶ里遺跡 *おまじないのりかた *何のため? *おまじないのりかた *ため

ふりかえり

今日は縄文時代と弥生時代について調べました。昔の人は今の便利な物が無いのに自分達で考えながら生活しているのはやっぱりすごいなと思いました。

縄文時代の生活の様子... 狩猟・採集... 土器... 弥生時代の生活の様子... 稲作... 銅器・鉄器... 高床倉庫... 住居... 遺跡... 三内丸山遺跡... 吉野ヶ里遺跡...

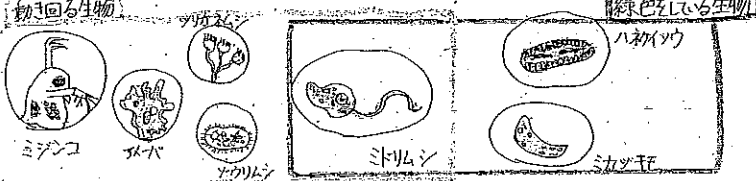
すこし、よいこととよいこと... very good!!



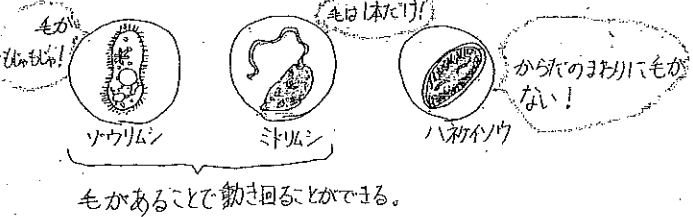
3. 顕微鏡の操作手順を覚えよう

- ① 対物レンズを最も低倍率にして、反射鏡とほりて視野を一様に明るくする。
- ② プレパラートをステージにのせる。横から見ながら調節ねじを回して、対物レンズとプレパラートをできるだけ近づける。
- ③ 接眼レンズをのぞいてプレパラートと対物レンズを遠ざけながらピントを合わせる。
- ④ はっきり見えるように、しぼりを調節する。

4. 水中の小さな生き物の名称と特徴をセットで覚えよう。



ちなみに、サウリムシ・ミドリムシ・ハナダマシの区別は...



顕微鏡を使うときは、反射鏡とほりて視野を一様に明るくし、プレパラートをステージにのせ、横から見ながら調節ねじを回して対物レンズとプレパラートをできるだけ近づけ、接眼レンズをのぞいてプレパラートと対物レンズを遠ざけながらピントを合わせ、はっきり見えるように、しぼりを調節する事が大事だと分かりました。



数直線

数直線 ← 数の場所を数直線で表したものを
① +3, -25 を数直線に表す。
(ステップ1) 直線のうえに基準点(0)をとって、0から左と右に同じ間隔で目盛りをつける。
(ステップ2) 0より右側に正の数、左側に負の数をとる。
(左)負の方向 (右)正の方向
-4 -3 -2 -1 0 1 2 3 4 0.5(1/2)目盛りでわかる

<重要> 数直線上で、0(ゼロ)が対応している点が、右の方向が 正の数、左の方向が 負の数

基準との差を正の数、負の数で表す

① ハンドボール投げで、20mを基準1として17mを表す。
(ステップ1) 基準にしている値を20m
(ステップ2) 17mは、基準(20m)より3m短いから、

<重要> 基準が何かを考慮する。 (注) 0ではない場合もある! 基準 原点=0

まとめ... 数学は、わたしたちの言葉である。

ふりかえり... 図は大事で、いい復習ができたと思います。 nice!!

数学... これは、数学の言葉で、"公式"や"用語"が多いです。図や式を自分で書いてみる。24. 工夫する。か、わりやすくおまじないのりかた。